



おまたの里だより

Vol.62

令和8年3月〇日発行

〒010-0132 秋田県秋田市上新城小又字落合 85 番地 TEL:018-870-2361 FAX:018-870-2372
発行者 社会福祉法人 秋田福祉協会 指定障害者支援施設 小又の里・小又の里保護者会



地域連携推進会議を開催しました

11/25 に小又の里会議室にて地域連携推進会議を開催いたしました。

地域連携推進会議とは、事業所と地域が連携することにより、

- ①利用者との関係づくり
- ②地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進
- ③サービスの透明性・質の確保
- ④利用者の権利擁護

を目的とした会議です。

保護者・地域の方に施設内を見学していただき、会議には職員の手、入所利用者様と GH の利用者様も参加されました。



NEW 入職職員紹介



支援員2名・看護師1名 新しく入職いたしました！
よろしくお願いたします。



編集後記

段々暖かくなってまいりました。今年度はクマの出没が増え、行事や散歩やウォーキング等も制限されることが多い日々でした。来年度も多くの行事で利用者の皆さまの活動の様子などをお伝えできればと思います。職員一同これからもどうぞよろしくお願い致します。
(小松・一関・伊藤)



マンネリズムを打破せよ

瀬田川 栄一

社会福祉法人秋田福祉協会 理事長

令和八年度の重点施策の一つにマンネリに陥らないようにすることを挙げています。

今年度は障害者支援施設「小又の里」が二十七年目、特別養護老人ホーム「共生の里」が七年目に入る。

年度の活動方針を決める時、よく見られるのが前年度の方針とほぼ同じもの。時には年度も進んでいないことが出てくる。私はよく言う「同じことを何年も行えば必ず後退する」と。事業の一つは実施すれば百パーセント良かったこと、ミスなどがあって当たり前だと思ふ。それを大方良かったと評価することが多い。要は小さなことだからと見過ごすことが多いのである、その積み重ねがこわい。私が求めるマンネリズム打破のあり方は事業の評価を正しくすることだ。そこには評価することもあれば、反省点もあるだろう。百パーセント良かったこととはまずない。

評価方法の一つは、事業する前の計画が適正なのか、実施後計画通り実施されたか。特に新しい計画が実施された後などに評価がわかれることが多い。

令和八年一月十日の小又の里新年会の例だが、司会者が抽選会でえらい盛り上がった。しかし会場の中は案外と冷やかな人が少なくなかった。しかも時間が長かった。その原因も私にもわかるように思う。実施後アンケートをやるが、本物の意見がなかなか出ない。それは気づいたことを言えば批判を受けられるからだ。良かった所だけ強調するアンケートはよくない。これはむしろ悪い事だが、次の事業計画や支援の在り方で成長するため大事な事だ。特に担当者が代わる時は、新しい担当者は自分の意思を事業にはっきり示して欲しい。人はそれぞれ違うし特徴がある。常日頃から良く見て、感じているものをとりあげ、小さな問題点をどう改善するか私は一人一人を楽しみにしている。失敗を恐れるな、失敗は人を成長させる原動力なのだ。

寄贈



11月に保護者会より、コロナウイルスとインフルエンザワクチンを同時に検査できるキットを寄贈していただきました。
秋からコロナウイルスとインフルエンザの流行期となり、施設の備えとさせていただきます。ありがとうございました！

今後の行事予定

- 4月 お花見ドライブ ●5月 健康診断 ●8月 夏祭り
- 4月～9月 生涯学習講座(月1回) ●旅行行事(開催月未定)

*新型コロナウイルス感染症等の感染状況によっては、今後の行事等が延期・変更・中止になる場合がございますのでご了承ください。

1月10日

新年会



今年のアトラクションは、フラダンスショー。フラ ハラフ オ メレ アロハの皆さん、最高の踊り、ありがとうございました。



10月17日

入所利用者日帰り旅行



8月予定していたミニ1泊旅行の中止に伴い、10月に日帰り旅行を実施いたしました。場所は……！土崎セリオン！

2月5日

節分行事



鬼は外 福は内~♪

福

3月4日

ひな祭り喫茶



12月8日

クリスマス喫茶



12/8(月)にクリスマス喫茶を行いました。ケーキ、とても美味しかったよ♪